

発行所：株式会社ダンネツ 〒070-8045 北海道旭川市忠和5条4丁目63-636 TEL(0166)61-9151



— 歴史探訪 —

「高断熱化とブローイング」

～なぜ快適な住まいに必要なのか?～



その9

住宅と地球温暖化

これからの住宅の省エネルギー化について、経済産業省の審議会である総合資源エネルギー調査会では、次世代省エネルギー基準対応住宅の増加や設備機器の効率向上などによって、2010年度の住宅・建築物のエネルギー消費量を原油換算で約1千万kl削減できると見込んでいますが、具体的にこれらの計画を実現していく方法についても国土交通省の社会資本整備審議会で行くつかの政策展開が考えられています。

現在の住宅金融公庫の融資規定

融資要件(義務付)	基準金利の適用	融資額の割増	
旧省エネ基準	新省エネ基準 または バリアフリー基準	新省エネ基準 (100万円)	次世代省エネ基準 (250万円)



将来予想される住宅金融公庫の融資規定

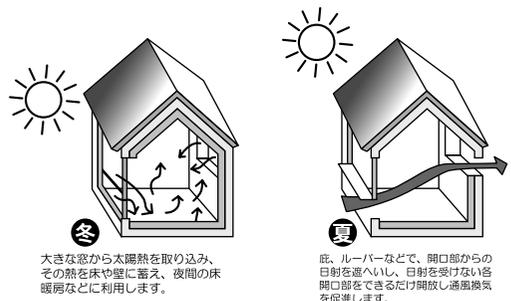
融資要件(義務付)	基準金利の適用	融資額の割増	
新省エネ基準	次世代省エネ基準 または バリアフリー基準	次世代省エネ基準 (100万円)	次世代省エネ基準? (250万円)

まず一つは、住宅金融公庫の融資基準強化で、現在、公庫で義務付けられている昭和55年の旧省エネ基準を平成4年の新省エネ基準に強化し、次世代省エネ基準は引き続き割増融資で誘導するという構想です。ご存知のように公庫は5年以内の廃止が決まっているわけですが、もし実現すれ

ば廃止後も引き続き何らかの形で同様の政策誘導が図られるよう配慮される見込みです。

次世代基準の普及状況は？

二つ目は計画・設計手法の実現で、建築と設備を調和させつつ多様な住み方に対応できる設計手法の普及を想定しています。具体的には事例集やマニュアルの策定・普及が考えられており、例えば冬は大きな窓から太陽熱を取り込んで床や壁に蓄熱し、夜間に床暖房等に利用するパッシブソーラーシステムなどをイメージしてもらえればわかりやすいのではないのでしょうか。また、住宅の省エネ性能を簡易的に算出して断熱仕様等を決定できる設計手法の開発も考えられているようです。



パッシブソーラーシステムのイメージ

政策誘導でエネ消費削減へ

三つ目は既存住宅の改修で、開口部の断熱性向上など、ユーザーが省エネに有効な改修手法を適切に選択できるよう、改修方法や効果についての情報提供などを進めていくというもの。新設住宅着工の落ち込みや、資源保護なども考えると、既存住宅の断熱改修は非常に有効な方法であり、寒

冷地を中心に今後の普及が期待されています。

特に断熱改修となると、マット状の断熱材では天井や壁をほとんど壊さなければならなくなるため、工事は大がかりになります。ブロウイング工法なら壊す部分は少なくて済みます。そのため北海道と同じく本州でも断熱改修をきっかけにブ



ブロウイングなら住みながらの断熱改修も容易

ローイングが一気に普及することも考えられるでしょう。

『断熱は』私達の未来を救う

このほかにも、次世代省エネ基準に対応できる技術者の育成や住宅性能表示制度の普及・推進、住宅の省エネ性能の実態把握など、ビルダー・ユーザーの省エネに対する意識を高める取り組みが考えられており、国を挙げて高断熱・高气密化を目指す時代が訪れようとしているわけです。

高断熱・高气密化を今から始めなければ、地球環境問題は悪化する一方です。ここで改めて住宅における『断熱』は防寒・防暑だけでなく、地球と人類の未来を救う役割を担っているということを確認し、これからの住宅づくりはどうあるべきかを考えていきたいものです。

頑張ってます！ 21世紀の家づくり

埼玉県越谷市・株式会社ジャストホーム

「快適で使い勝手の良い家を目指して」

ジャストホームは断熱・気密という言葉がまだそれほど意識されていない埼玉において、いち早く高断熱・高气密化に取り組み、これまで蓄積してきた優れた技術力によって快適性の高い住宅を供給しているビルダーだ。

同社の会田義光社長が「一言で言えば“快適”な家づくりを目指していますが、その中で高断熱・高气密はもちろん、使い勝手の良い間取りなども重視しています」と話すように、ユーザーの立場に立った家づく

りも同社の大きな魅力。高

断熱・高气密化は7年前からその必要性を感じていたといい、現在ではダンネツのDNG工法

を採用。床は根太レスパネル、外壁・屋根は発泡ウレタン吹き付けによって、優れた施工性と高水準の温熱環境・空気環境を実現しており、会田社長自身、新築した自宅でその素晴らしさを実感しているという。また、性能に敏感なユーザーからの問い合わせもよくあるそうだ。

「住宅の質が問われる中、住む人の身になって家づくりを行い、アフター・メンテナンスなども地域に密着して行えるような小回りの利くビルダーになりたい」と会田社長は話しており、今後もさらにユーザーの満足度の高い住宅を提供していく意向だ。

県



会田社長

会社概要

- 本社 埼玉県越谷市東越谷 9-121-2
- 社長 会田義光
- 創業年 昭和52年
- 従業員数 8名
- 年間施工棟数 約20棟



都会的なデザインが印象的な高断熱・高气密住宅

高断熱・高気密工法のチェックポイント

第11回

健康住宅②



健康的な住宅を造るためのガイドラインとして、今回は適切な建材の選択方法を中心に設計・計画面でのポイントについてまとめました。今回は着工から竣工に至るまで、実際に現場で施工する時の注意点を紹介します。

Part.1 現場管理はしっかりと

有害化学物質を全くあるいはほとんど放散しない建材を使用することが健康住宅を造るうえでの前提条件の一つですが、着工したら選択した建材が間違いなく現場に納入されているかどうか、そして職人が使用規定に従って施工しているかどうかを確認することが必要です。特に忙しい時期では、製品を間違えて発注したり、注文とは別の製品が納入される可能性があるほか、職人が取り扱いを誤ったり、施工を急いで接着剤に有害化学物質を多く入れてしまうといった例もあります。適切な建材を適切に施工するため、現場管理はしっかり行うように心がけたいものです。

Part.2 オープンタイムを十分取る

室内空気汚染で原因となる物質の多くは接着剤や塗料の有機溶剤成分と言われています。そこで、適切な製品の選択はもちろんですが、接着剤や塗料の施工時には換気を十分に行うと同時に、施工後は有機溶剤成分の揮発を促進させるため、オー

プンタイム（乾燥時間）をできるだけ長く取ることをお勧めします。ちなみに日本接着剤工業会が行った調査の結果によると、換気を十分行うことを前提に、施工から入居まで14日程度以上の期間を設けることが一つの目安となるようです。なお、同会では有害性や換気の目安を示した接着剤の選択基準を公開しています（表A）。

Part.3 換気はすぐ作動させる

換気は、室内で放散されたり、室内に入ってしまった有害化学物質を排出する役目を担っています。窓を閉めっぱなしにしている現場も見かけますが、室内に有害化学物質を滞留させないように、できるだけ施工中は窓やドアを開け放しておくといいいでしょう。換気システムも設置が終わったらすぐに作動させておくべきです（写真1）。

このほか、キッチンやユーティリティの収納、クローゼット、下駄箱、押し入れなどの密閉空間も、合板等から放散された有害化学物質が滞留しがちなので、施工時から入居までは扉を開けておく必要があります（写真2）。

	VOC量	引火性	皮膚刺激性	換工中	気工後	備考
合成ゴム系溶剤形接着剤	D	D	B	D	C	
酢酸ビニル樹脂系溶剤形接着剤	D	D	B	D	C	
合成樹脂エマルジョン形接着剤	B	A	B	B	B	微量の溶剤を含むものがある
合成ゴムラテックス形接着剤	B	A	B	B	B	数%の溶剤を含むものがある
壁紙施工用接着剤	B	A	B	B	B	
ポリウレタン1液形接着剤	B	B	B	B	B	数%の溶剤を含むものがある
エポキシ樹脂系2液形接着剤	B	B	C	C	B	数%の溶剤を含むものがある 主剤、硬化剤の充分な混合が必要
変成シリコン系接着剤	B	B	A	B	B	

凡例	VOC量	引火性	皮膚刺激性	換気
A	無し	無し	無し	通常の換気
B	僅かに含有	僅かに有	僅かに有	少し多め
C	少量含有	中程度	中程度	換気頻度を多く
D	大量含有	高い	高い	強制換気が必要

表A・日本接着剤工業会による接着剤の選択基準



写真1・換気システムは設置後すぐに作動させる



写真2・収納部分は汚染空気が滞留しないように開放しておく



公庫第1回募集は6割減

住宅金融公庫では、このほど平成14年度第1回個人向け融資の募集結果を発表した。それによると全国集計分は1万8,379戸で、前年度第1回募集と比較すると59.1%の減少と大きく落ち込んでおり、昨年の行政改革で公庫廃止が打ち出されたことをきっかけとして公庫離れが加速していることを表している。

内訳を見ると、マイホーム新築が8,869戸、同比68.8%減、マンション購入が6,681戸、同比31.3%減、建売住宅購入が2,829戸、同比58.0%減となっており、戸建て市場の停滞が浮き彫りとなった。

増改築にも性能保証

(財)住宅保証機構が今年度から開始した増築工事に対する住宅性能保証制度の内容が明らかになった。すでに受付を開始している。

対象となる住宅は一戸建て住宅で、増改築工事部分の面積規模が10㎡以上かつ工事費が500万円以上。改築しない部分の台所更新などを含む工事の場合は増改築のみで500万円以上であること。保証内容は現行の制度と同じで、保証期間は長期保証が10年間、短期保証が1~2年間。保証対象範囲も現行の住宅性能保証制度に準じた内容となる。住宅登録料は工事金額1千万円の場合、6万640~7万1,840円。

詳しくは同財団(03-3584-5748)または各地

の窓口へ。

空気測定モニター募集

室内空気対策研究会の実態調査分科会では、住宅の室内空気環境に関する全国実態調査を実施するにあたり、現在、測定に協力してくれるモニターの募集を行っている。

対象とする住宅は、平成13年6月以降に完成した竣工後1年以内の住宅で、現在、住んでいることが条件。測定作業は、測定バッジという簡易測定機器を24時間放置し、調査票解答用紙等とともに返送するだけ。測定物質は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレンなど六物質で、測定結果は個別に郵送する。

希望者は(財)住宅リフォーム・紛争処理支援センターのホームページ(<http://www.skkm.org/>)から応募するか、電話・ハガキで申し込むこと。応募受付は七月末までで、参加無料。詳しくは、同センター(03-3556-5559)へ。

◆編集後記◆

◆もうすぐ夏という先月下旬に、北海道では知床など道東の一部の地域で雪が降りました。今年は例年よりも雪解けが早かったのですが、なんだかよくわからない天気が続きそうです。(佐野)

◆無事故・無違反なのに2年連続で自動車保険が値上げ。合併で相手の会社に保険料を合わせたからだそうですが、安い保険会社が積極的に宣伝してるのに、「何考えてるの?」と言いたくなりますね。(水越)



株式会社ダンネツ

ホームページURL <http://www.dan-netso.co.jp/>
E-mailアドレス info@dan-netso.co.jp

「快適な住まいづくり」はお任せ下さい!

- フローイング工事
- 気密・換気工事
- 防水工事
- ガラスウール工事
- 吹付・注入工事
- パネル製造

■本	社	〒070-8045	旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)61-9151	FAX(0166)61-2044		
■旭	川	工	場	〒071-1248	上川郡鷹栖町29番62番363	TEL(0166)87-4442	FAX(0166)87-4888
■札	幌	支	店	〒004-0055	札幌市厚別区厚別中央5条2丁目4-10	TEL(011)893-3588	FAX(011)893-3502
■釧	路	支	店	〒088-0621	釧路郡釧路町桂木5丁目15	TEL(0154)36-1790	FAX(0154)36-1844
■帯	広	支	店	〒080-2460	帯広市西20条北2丁目2-1	TEL(0155)41-4101	FAX(0155)41-4105
■旭	川	支	店	〒070-8045	旭川市忠和5条4丁目63-636	TEL(0166)62-7575	FAX(0166)61-1715
■北	見	支	店	〒099-0878	北見市東相内町174番地16	TEL(0157)36-3557	FAX(0157)36-3433
■千	歳	営	所	〒066-0008	千歳市根志越2190-27	TEL(0123)26-4111	FAX(0123)26-4112
■大	宮	支	店	〒331-0064	埼玉県さいたま市大字佐知川字粕田159	TEL(048)624-9493	FAX(048)624-1857
■宇	都	支	店	〒321-0923	栃木県宇都宮市平松本町362-6	TEL(028)636-1266	FAX(028)636-2675
■高	崎	支	店	〒370-3523	群馬県群馬郡群馬町福島644	TEL(027)373-7199	FAX(027)373-5583
■平	塚	支	店	〒254-0017	神奈川県平塚市真土24-1	TEL(0463)54-6484	FAX(0463)54-2430
■水	戸	営	所	〒311-3116	茨城県東茨城郡茨城町長岡3660-15	TEL(029)291-1822	FAX(029)291-1825
■株	丹	信	州	〒399-0033	長野県松本市大字笹賀5130-1	TEL(0263)26-0811	FAX(0263)26-1016
■株	丹	信	州	〒004-0022	札幌市厚別区厚別南1丁目8-28	TEL(011)801-6811	FAX(011)801-6822